

日本OG軟式庭球連盟会長の中沢伊登子さん



なかざわいとこ

大正4年8月20日静岡県生まれ。昭和38年～40年兵庫県市議会議員。40年～52年

参議院議員（民社党所属）を務め、52年から宝塚市教育委員。そして54年から兵庫県社会福祉審議会委員、58年4月から自治省中央選挙管理委員会となる。二男一女の母。

組織の運営には
爽やかな人間関係と
広い視野が大切

インタビュー／真木野洋子

現在の連盟ができたのはいつですか。

中沢 昭和52年です。

—— どういった経過で結成されたのですか。

中沢 私は三代目の会長なもので、当時の初代会長である野村幸子さんにかがった方がよろしいとは思いますが、私が聞いている範囲では、昭和46年に韓国を訪れた日本のママさんチームの選手たちが、韓国のママさん組織の充実度にびっくりして帰国後すぐ、日本にも組織を作ろうということになったということです。

—— 実際に活動を始めたのはいつですか。

中沢 昭和46年3月に、今の日本OG軟式庭球連盟の母体となった西日本OG軟式庭球連盟が設立されました。

—— 全国的に広がっていくには、たいへんなご苦労があったでしょうね。

中沢 そうですね。ちょうど私が会長に就任した年から、日本OG軟式庭球連盟になりましたから、そりゃもう大忙しでした。日本全国、ママさんの軟式テニスの大会や会合と聞けば飛んで行って、選手や役員の方と話をしましたね。そうやってコミュニケーションをとっていったことが良かったようです。大会のあとは選手や役員の方と歌をうたったり踊ったり、家族の話をしたりして楽しい時間を過しましたよ。

—— 最近の活動はいかがですか。

中沢 現在は、都道府県に支部があり、その支部大会も盛んで会員は約1万人。昨年からは、台湾や韓国チームと大会をやったりして国際的な活動も行っていきます。—— 最近のソフトテニス・ママはどうか。

中沢 それがね、近ごろはテニスに夢中になりすぎて、手ヌキ、朝ヌキ、ババヌキなどといわれるママさんがでてきてしまっていますね、困っています。

—— ですから、会員の方に困った際に「自分の健康だけを、家族全員の心と体の健康を考えるのが会員の使命ですよ」と厳しいことを申しております。

—— 選手である前に母親、妻であれということですね。

中沢 そうです。スポーツは十分な時間とお金があれば誰だって楽しめるんです。でも、そこから得られるものは、苦勞して時間やお金を作ってスポーツするときに得るものより、ずっとずっと小さなものになってしまいうような気がします。

—— 女性の地位が向上したとはいえ、まだまだあちこちで女性の手による運動が盛んですが、組織作りの先輩として何かアドバイスを……。

中沢 とにかく、仲良くということですね。女性の短所としてよく指摘されることですが、ひがんだり、ねたんだり、足の引っ張り合いなどをしないで、とにかくさわやかな人間関係を作っていくことですね。あと自分と相手の良いところを共に生かしていくとする姿勢。たとえば女性は女性なりの力を発揮し、そして男性からも協力を得て8しかないところを10にする、そんな広い視野が大事だと思います。

—— とところで今年から、WSFジャパンの団体会員になられたわけですが、WSFジャパンについてどうお考えですか。

中沢 私は、このWSFジャパン代表の三ツ谷洋子さんが企画なさった80年の国際女性スポーツ会議に出席いたしました。チェコのチャスラフスカさんはじめ、

7人のスポーツウーマンが、実に興味深い、すばらしいスピーチをしてくださいました。スポーツ選手でありながら、母であり、妻であり、娘である、そして人間であるという彼女たちの自覚は、本当に立派だと思いました。

また、2月の発足1周年記念のシンポジウムにも出席しましたが、これもまた女性スポーツ選手だからこその言えることがいくつもあったように思います。

私は、すばらしいものは分かち合うべきだと思います。ですから、スポーツ選手の国内外の交流を目指すWSFジャパンには大きな期待を持っているわけです。

—— そうですね。各スポーツ競技の中だけで固まりがちで、横の連絡は皆無に等しいのが現状です。財政も厳しい生まれたばかりの団体ですが、みなさんのご協力を得て頑張っていくかと思っています。

中沢 そうですね、組織というのは参加するひとりひとりの意識が低ければ少しも成長しません。お互いに助け合ってくださいませ。そして、ひとりでも多くの団体、会員がふえて仲良くなれたらいいですね。

（中沢さんの近況報告）

今年67歳という中沢さん。こちらの質問にテキパキと答えてくださるその声はとて60代とは思えない。4人のお孫さんに囲ましながらも、現役バリバリ。今年の4月、全国に5人しかいない自治省中央選挙管理会の委員になった。女性としては2人目である。会員が1万人を超える日本OG軟式庭球連盟の会長に就いて今年で6年目。頼れる会長として全国のママさんからたいへん親しまれている。

現在は、兵庫県宝塚市にご主人と二人きりで、健康で楽しい毎日を送られている。